地域の人がつくる地域情報誌

第58号
令和4年8月発行

MYタウン 赤坂青山
AKASAKA AOYAMA

より良い情報を
多く見やすく
リニューアル

［特集①］

街を通じて平和を考える

［特集②］

芸術の街 赤坂・青山を楽しむ

特集❶

赤坂・青山の歴史をたどる

街を通じて 平和を考える

**緑豊かで、穏やかに人々が暮らす赤坂・青山は、
かつて軍部の施設が多く、まさに軍都でした。
当時の名残を通じて、今一度平和について考えてみました。**

青山が空襲に遭った日

当時の様子を体験者に直接伺ってみました

1945.5（昭和20年5月）

人とクルマが行き交う表参道交差点。77年前にこの周辺が空襲の被害に遭いました

中西寿一（なかにし じゅいち）さん

昭和14年（1939）、青山表参道に生まれる。先祖は溜池のほとりで料亭を営むなど、赤坂・青山地域にゆかりがあり、現在も地域活動に力を入れています。また趣味の自転車では現在も日本一周の旅を続けているほど、お元気です

多くの人が集まり常に進化し続ける街、青山表参道。流行の最先端をいくファッションの街として知られていますが、太平洋戦争末期の昭和20年（1945）5月の東京山の手空襲で、赤坂・青山地域の大半が焦土と化し、火と熱風で逃げ場を失った多くの人達が亡くなったことをご存じでしょうか。80年以上赤坂・青山地域に住み、5歳で山の手空襲を経験した中西さんにお話を伺いました。

避難途中で見た光景 忘れられない少女の姿

取材の始まりは「バケツリレーは知っている？」という中西さんのご質問から。バケツリレーとは空襲時の消火活動の練習で、小さな子どもも訓練に参加していたそうです。

昭和20年（1945）5月25日22時過ぎに空襲警報が発令、当時青山南町5丁目（現在の南青山4丁目付近）に住んでいた中西さんはお母様、弟さんと一緒に青山通りを必死に逃げました。途中、表参道近くにあった当時の赤坂青山警察署前の防火用水を防空頭巾にかけ、青山墓地に向かい、助かったといいます。「避難途中、うずくまった姿勢のまま亡くなっていた少女の姿が今でも忘れられない、とにかく逃げるのに必死で戦闘機B-29の記憶はなく、昨今のウクライナ情勢に関する報道を見て、昔もこのような状況だったのか」と連想することがあるそうです。

「Give me 10 Yen!」米軍との関わり

空襲で家を失った中西さんは終戦後間もなくして赤坂に住み、越境して当時の永田町小学校に通いました。当時は多くの米軍が学校近くにも駐留しており、弁慶橋で取った蓮の花を米兵に渡し、「Give me 10 Yen!（10円頂戴！）」とお願いした小学校時代。「10円は貰えなかったけど、チョコレートを貰ってね、その甘さに感動した」。蓮の花を取る際、誤ってマンホールに落ちたところを米兵に助けてもらったこともあったそうです。

戦前の街の様子などをできるだけ記録して、後世に残したいという思いから、中西さんは機会を見つけては資料の収集に力を入れています

人との繋がりが平和の秘訣

「高層マンションが増え、地域の繋がりが希薄になってきていることは寂しく思う。『向こう三軒両隣』をもう少し持っていたい。人との繋がりが平和の秘訣ではないか」とのメッセージをいただきました。

取材を終えて

赤坂・青山地域が焼け野原から復興し、今日までの繁栄を築いてくることができたのは、人との繋がりが大切にされてきたからこそではないかと感じました。素晴らしい赤坂・青山地域を作ってこられた先人の皆様への感謝の心を忘れず、これからも人との繋がりを大切にしたいです。

表参道に今も残る爪痕、そして慰霊の碑

表参道の交差点にあるみずほ銀行（当時の安田銀行）青山支店の前。地下鉄の出口の裏にあるのが「和をのぞむ」という慰霊碑です。昭和20年（1945）5月の空襲での犠牲者を慰霊するために、港区政60周年の事業として建てられました。多くの人々が行き交う場所ではありますが、今ではその存在に気が付く人もあまりいません。あらためて、77年前にここであったことに思いをめぐらせ、犠牲となった方々への鎮魂の気持ちを手向けてみてはいかがでしょうか。近くの善光寺にも慰霊碑があります。

右の写真は慰霊碑に刻まれた言葉です。空襲の様子、そして平和への言葉が刻まれています。同じく表参道の交差点近くには、通りを挟んで両側に大きな石灯籠があり、一部が欠け、黒ずんだ台座が空襲の爪痕を今に残すと言われています

出征兵士たちの旅立ちの地

明治神宮外苑周辺 ▶ 御観兵榎／青山練兵場

聖徳記念絵画館、明治神宮野球場、テニスクラブ、軟式野球場、銀杏並木などの明治神宮外苑や国立競技場、秩父宮ラグビー場…、多くの人々に親しまれているこの一帯はかつて、陸軍の青山練兵場でした。

武家屋敷が多かった青山にはまとまった土地があったこと、青山、赤坂、麻布周辺には陸軍施設が多く設置されていたことなどの理由で、明治19年（1886）に日比谷から移転してきたのです。

青山練兵場は明治天皇ととてもゆかりが深く、日清・日露戦争への出兵や日露戦争の戦勝記念の凱旋大観兵式など、生涯で32回も観兵式が行われました。観兵式のたびに御座所が設けられた場所は、常に榎の木の西前方だったことから、この榎は「御観兵榎」と命名され、今もこの場所を見ることができます。

また、青山練兵場には青山軍用停車場という軍専用の駅がありました。

当初、現在のJR中央線は新宿通りのルートを通す予定でしたが、軍の強い意向により、現在の千駄ヶ谷～信濃町ルートに変更となり、青山軍用停車場まで引き込み線を敷設したのです。この中央線のルートこそが、軍の最大の名残と言えるのかもしれません。ちなみにその痕跡はまだ残っており、引き込み線を実際に見ることができます。

今の神宮外苑からは想像もつかないほど、青山練兵場は広大な場所であったことがわかります。『御大典後青山原頭ニ於ケル陸軍大観兵式ノ実況　大正4年（新宿歴史博物館所蔵）』

「御観兵榎」は平成7年（1995）に老齢（樹齢200余年）と台風の強風により倒木。遺木の一部は聖徳記念絵画館内に保存されています。現在見ることのできる榎は2代目です

青山練兵場は明治42年（1909）に代々木練兵場に移転し、大正15年（1926）に明治神宮外苑が完成しました。それ以降、軍の痕跡はまったく残っていませんが、昭和18年（1943）に明治神宮外苑競技場（当時、後身は平成27年に取り壊された国立競技場）で太平洋戦争の出陣学徒壮行会が行われました。

日清・日露戦争への出征、出陣学徒壮行会…、私たちの憩いの場である神宮の杜は、戦地への旅立ちの地だったのです。

左端の雑草が生えている線路が、青山軍用停車場へ続いていました。千駄ヶ谷駅近くの大番町跨線橋から見ることができます

軍隊の街だった赤坂の名残り

檜町公園 ▶ 歩一の碑

東京ミッドタウンは、東京で最も高いタワービルやレジデンス棟、さらに日本庭園を思わせる緑豊かな檜町公園も擁する“複合都市”として、今から約15年前の平成19年（2007）に誕生し、地元から、遠方から、人々が集う笑顔あふれるスポットです。

この約10ヘクタールもの敷地は、明治・大正・昭和前期にわたる67年の間、大日本帝国陸軍の連隊の一つ「歩兵第一連隊」の駐屯地として使われていました。

歩兵第一連隊は、乃木希典（のぎまれすけ）が2代目連隊長として統率した西南戦争に始まり、日清・日露戦争、更に太平洋戦争へと従軍。満州に渡っていましたが、敗戦が色濃くなった昭和19年（1944）には連隊主力2500人がフィリピンに派遣され、うち生きて復員できたのはわずか39名でした。

東京ミッドタウンの開発が始まる平成13年（2001）まで、この地には昭和2年（1927）に改築された歩兵第一連隊の本部庁舎や門柱、歩哨舎、外壁が残されていましたが、今は取り壊されたり、移設されています。その歴史の証として残るのが、檜町公園の中にひっそりと建つ「歩一の碑」と刻まれた石碑です。これは昭和38年（1963）秋、連隊出身者の有志が集まり、その跡を留めるべく建てられたもので、公園の渓流で遊ぶ子どもたちを見守っています。

檜町公園内にある池の南側、草むらにひっそりと佇んでいる「歩一の碑」が今残る唯一の足跡です。ぜひ探してみてください

東京ミッドタウンの裏手に広がる緑豊かな公園が檜町公園です

2007（平成19年）
東京ミッドタウン

1962（昭和37年）
防衛庁庁舎、陸上自衛隊駐屯地

1960（昭和35年）
日本に返還

1945（昭和20年）
米軍が接収。
米軍将校宿舎
（ハーディバラックス）

1874（明治7年）
歩兵第一連隊駐屯地

江戸時代
長州藩毛利家の下屋敷

特集❷

芸術の街 赤坂・青山を楽しむ ART

©2022 - Succession Pablo Picasso - BCF(JAPAN)

展示方法にも工夫が凝らされていて、壁一面にピカソの作品が並ぶのは壮観です。絵柄は可愛いものもあったりして、見ていて飽きません

今行ってみたいスポットを厳選！

赤坂と青山は文化・芸術に造詣が深い街でもあります。ひと口に文化・芸術と言ってもジャンルや規模は様々。編集委員のオススメを巡ってみましょう！

ヨックモックミュージアム

ピカソが手掛けた陶器の一大コレクション

美術館が多く点在する青山に、まるで友人の家に招かれたようなゆったりとした空間のヨックモックミュージアムが令和2年（2020）に誕生しました。

ヨックモックのシンボルカラーをイメージした屋根瓦が印象的な外観で、館内には世界有数のピカソのセラミックコレクションが様々な切り口で展示されています。

受付から地下1階へと続く長い階段の先には、照明を落とした落ち着いた空間が広がります。そこには、ピカソの自由な発想や感覚で描かれた絵画やセラミック作品による企画展が開催され、一つひとつの作品をゆっくりと鑑賞することができます。2階は、地下とは対照的に自然光が入る明るい空間となっています。お天気の良い日はセラミックの展示作品が艶感や輝きを増し、ピカソが陶器を制作していた南仏の地が目の前に広がりそうです。

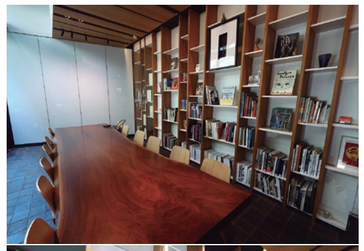
1階のライブラリーでは、臨床美術士の資格をもつスタッフによるアートセラピーを応用したアートセッションの企画、オリジナルのプログラムおよび青山エリアで活躍する異分野の専門家たちとのコラボなどが開催されており、予約がすぐに埋まるくらい人気だそうです。

併設の「カフェ ヴァローリス」では、洋菓子店「アン グラン」の昆布智成（こんぶともなり）シェフパティシエが腕を振るった、南仏や絵画パレットをイメージさせるヨックモックミュージアムならではのケーキを楽しむことができます。ラテアートやコースター制作などができるカフェメニューもあり、カフェを利用するだけでもピカソ気分に浸れそうです。ショップには、南仏で開催された陶器見本市のために、ピカソが制作したポスターをメインモチーフとした廣村正彰（ひろむらまさあき）氏デザインのプティシガール缶が販売されています。

「アートで人の心を豊かにしたい、そして、地域社会に根付いた美術館になるように…」と熱い眼差しの藤縄副館長のお言葉が心に沁みました。より青山の街がアートの世界に見えてきそうです。青山から南仏へショートトリップしてみませんか?

藤縄（ふじなわ）副館長

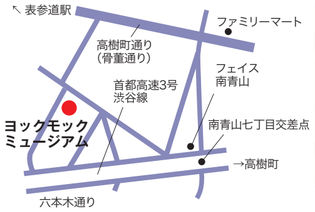
アートを楽しんでもらうために様々な試みを実施。スタッフの多くが「臨床美術士」の資格を持っています



（上）ライブラリースペースでは、ピカソ関連の書籍が充実。アートセッションのスペースにもなっています
（下）ショップにはオリジナルグッズだけでなく、世界中からセレクトしたピカソ関連のグッズなども並んでいます

DATA
ヨックモックミュージアム

南青山6-15-1
☎03-3486-8000
開館時間：10:00～17:00
定休日：月曜日・年末年始・展示替期間
※月曜日が祝日の場合は臨時開館



公式HP

ミュージアムカフェならではのメニューも充実しています

ラテアートにもチャレンジ！

ヨックモックミュージアム限定のプティシガール缶！

松山バレエ団

歴史ある、日本を代表するバレエ団

昭和23年（1948）に南青山で設立されたのが松山バレエ団・松山バレエ学校です。以来、74年を数える現在も日本のバレエ芸術界と、青山文化を彩っている存在ですが、コロナ禍の影響から令和２年（2020）以降の運営は、従来通りにはいきませんでした。

事務局の松本佳織さんによると「コロナ禍のピンチをチャンスに変えられるよう、私たちが出来ることに真剣に取り組みました。緊急事態宣言中、団員はオンラインを使った自宅レッスンを追加して工夫し、その後、生徒の皆さんのレッスンは密を避けた定員制で行い、徹底した清掃と除菌を心がけました」。その最中の令和３年（2021）、団長の森下洋子さんが舞踊歴70周年を迎えました。「公演ができない時、森下は自分の身体を整え、自身を見つめる時間に努めて、来たるべき公演に備えていました」と松本さん。

そして令和４年（2022）５月、森下さんの節目に相応しい記念公演『ロミオとジュリエット』が上演されました。「お客様の心に希望を届ける演出を施しての上演です。先行き不透明な時代の今、人々に伝えたいメッセージを真摯に考える機会になりました」。松山バレエ団では、バレエを楽しく学べる教室も南青山を中心に全国で展開しています。生徒数は青山本校だけで約千人。年齢は0～70歳代と幅広く、プロを志す人はもちろん、地域にお住まいの方や在勤の方も通っていらっしゃいます。さらに「バレエは敷居が高い…」と思っている方向けに、健康維持のための「松山体操」というコースがあり、こちらも地域の方々に好評です。

“芸術は人々の幸せのためにある”をモットーに、南青山で活動を続ける松山バレエ団のこれからにも注目していきたいと思います。

青山通りから路地を入った、閑静な住宅街の中にあります。非日常を演出するために入口は荘厳で格調高い感じです

DATA
松山バレエ団

南青山3-10-16
☎03-3408-6640

公式HP

dot&blue

生演奏と食文化との融合 ―人と人とのコトづくり―

店名の通り、店内はブルーに彩られています。多種多様なライブメニューにも注目です

赤坂通りに面したスタイリッシュなビルの１階に構えるミュージック・ダイニングバーdot&blue。エントランスを入ると、地下１階から１階につながり、柔らかなブルーの照明が清々しい、凛としたモダンな空間が広がります。ジャズを中心に様々なジャンルのアーティストの方々の音楽文化の発信地となっています。

オーナーの春名さんはジャズピアニストとしても活躍しており、そして美食家。生演奏を楽しみながら食を楽しめる場所を創りたく、この店を企画されたそうです。目指したのは、人が好きなモノ・コトを共有し繋がることの出来る場の提供。

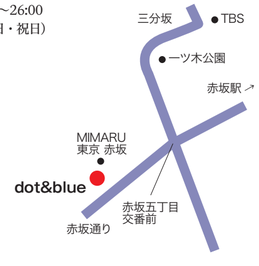
マネージャーの丸山さんはフレンチレストランでの経験があり、お店のフードは折り紙付き。また、数多くのお酒のボトルがブルーの照明に浮かび上がり、目を楽しませてくれます。コロナ禍で苦しい時期もありましたが、アーティストの方々の発表の場を守り抜くという気概で努力され、多くのミュージシャンに圧倒的な支持をされるミュージックバーとなっています。

dot&blueの店名は、平成17年（2005）、スティーブ・ジョブズのスピーチでも使われた”Connecting the dots”「点と点をつなげる」の言葉と、オーナーのコンセプトとが共感することからの命名だそうです。丸山さん曰く、「赤坂の方々にも繋がりを広めたく、気軽にドアを開けて遊びに来て下さい」。ぜひ一度素敵な音楽と食と、人との繋がりを楽しみに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

DATA
dot&blue

赤坂7-9-7 パルビゾン74 1F
☎03-3568-3188
営業時間：18:00～26:00
18:00～24:00（日・祝日）
定休日：月曜日

公式HP



街で見つけた わたしの映（ばえ）スポット

五輪花壇 高橋是清翁記念公園

選手村から国立競技場へ向かう各国選手を乗せた大型バスを見送った想い出の場所、ここで花々を愛でるとワクワク感まで蘇ります！

ののあおやま

ののあおやま「しばふ」では、青山ゆかりの岐阜県郡上市の郡上本染の鯉のぼりが泳いでいたり、季節に合わせた森ならではの催し物が随時開催されています。

INFORMATION

［インフォメーション］

地域だより Vol.4

放課 GO →クラブあおやま

放課後を楽しく、みんなで過ごそう!!

放課ＧＯ→クラブあおやまは、放課後の居場所作りを目的とした放課ＧＯ→と、放課後の生活の場としての学童クラブを一体的に運営している施設です。

青山小学校内にあり、主に青山小学校の児童が利用していますが、青山小学校の学区域に住んでいる小学生も利用できます。

港区HP

難しいなぁ～

放課ＧＯ→クラブ室

工作やマジックなどのプログラム、勉強や読書など、基本的な活動を行っています。

１つの部屋での活動となるため、色々な学年の児童が一緒に遊ぶ姿が多く見られ、異学年が交流する良い機会となっています。

おやつ

学童クラブの児童は、15時30分ごろからおやつを食べています。内容はスナック菓子よりも、パンやおにぎりなどを多く提供しています。

また、地域の銘菓や季節に合わせた物も織り交ぜて、楽しんでもらえるように工夫しています。

プログラム

日本将棋連盟から元プロ棋士の伊藤明日香先生をお呼びしています。他にも折り紙検定や学校を使っての謎解き、外部講師を呼んで体を動かすプログラムなども行っています。

さらに、近隣の施設と交流事業も実施しています。

優しい指導員の皆さん

小学校内にある施設ですが、機会があればぜひ見学に来てください。地域の行事や交流事業の際にお会いできるのを楽しみにしています！

［赤坂・青山 地域の活動］赤坂東一・二丁目町会 青年部

赤坂東一・二丁目町会青年部は、安全・安心な住みよい生活環境の維持、楽しい交流やお祭りなど顔の見える環境を築くために様々な活動を行っています。

活動の内容を教えてください。

町会活動のサポートをしながら、新しい企画を提案しています。祭礼では御神輿巡行補助や300名を超える懇親会の会場設営・手配を行っています。

新しい試みとして、町会活動をより広く知ってもらうため、町会のホームページやSNSアカウントを作って発信しています。また、今回取材をしていただくきっかけとなった町会総会のリモート参加を実現し、講習も織り交ぜながら、町会活動のデジタル化を推進しています。

さらに、地元の飲食店・商店とも積極的に交流しており、地域の繋がりや赤坂の素晴らしさを宣伝する活動を行っています。

町会総会の様子。リモートで実施

活動する中でどのようなやりがいや大変さを感じますか？

顔が見える（仲の良い）街は、治安が良いということを耳にしたことがあります。祭礼や火の用心、防災訓練などの活動がそんな街づくりに貢献できていることにやりがいを感じます。また、先輩町会員の方々が柔軟かつ積極的に、青年部の意見を取り入れようとしてくれることが、我々の更なるやりがいにも繋がっています。この風通しの良さが当町会の一番の強みでもあると思います。

一方で町会活動の輪を広げていくことには、大変さを感じています。

今後この活動についてどのように展開していきたいですか？

【町会＝住民しか参加できない】というイメージを払拭したいと考えています。働く場所にも愛着を持ち、参加したくなる新しい形の町会を創造していきたいです。そして、愛するこの町会の伝統を守り続けていきます。

地域で活躍している方々を紹介 Vol.32

赤坂東一・二丁目町会
青年部　部長
長澤秀典さん
ながさわひでのり

町会活動の様子

町会ホームページ

町会公式Twitter

赤坂地区総合支所からのお知らせ

「赤坂青山 美しいまち マナーのまち」キャンペーンに参加しませんか？

【主な活動内容】

喫煙マナー・ルール向上の啓発活動／清掃活動／
放置自転車・放置バイクへの警告札の貼付など

【スケジュール】

実施日	時間	活動場所	集合場所
9月8日（木）	9：30～10：30（受付9：10～）	赤坂駅周辺	赤坂Bizタワーアネックス1赤坂通り側
9月9日（金）	9：00～10：00（受付8：40～）	表参道駅周辺	秋葉神社前
10月27日（木）	9：30～10：30（受付9：10～）	溜池山王駅周辺	赤坂スターゲートプラザ前
10月28日（金）	9：30～10：30（受付9：10～）	青山一丁目駅周辺	ホンダビル前

詳しい情報はこちら！

●問合せ／赤坂地区総合支所 協働推進課 協働推進係　☎03-5413-7272

家計急変世帯に10万円を支給しています
～港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業～

申請できる世帯

令和4年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、令和4年度分の住民税均等割が課されている世帯員全員のそれぞれの年間収入見込額又は年間所得見込額が、住民税均等割非課税相当水準以下の世帯の方

申請方法

対象の方は、申請書類等を郵便でご送付いただきます。申請書類等は港区ホームページでダウンロードが可能なほか、各総合支所区民課（麻布地区総合支所は2階の港区生活・就労支援センター）等でも配布しています。

◇申請期限：令和4年9月30日（金曜）（消印有効）

●問合せ／港区住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金コールセンター　☎0120-352-652
営業時間：午前8時30分～午後5時まで
（土曜、日曜、祝日は除く）

動物のマナー向上プレートを配布しています！

みなと保健所、各総合支所協働推進課協働推進係で配布しています。いくつか種類がありますので、詳しくはお問合せください。
※必ず掲示場所の管理者に了承を得てから掲示しましょう。

ご協力お願いします

●問合せ
みなと保健所 生活衛生課 生活衛生相談係　☎03-6400-0043
赤坂地区総合支所 協働推進課 協働推進係　☎03-5413-7272

「赤坂・青山SDGsスタンプラリー」開催します！

赤坂・青山地域の幅広い世代の皆さんが交流できる赤坂・青山多世代交流促進事業として、「赤坂・青山ＳＤＧｓスタンプラリー」の実施準備を進めています。地域の施設や、赤坂地区総合支所の事業を知っていただくとともに、さまざまな年代の方々が、一緒に楽しんでいただけるようなイベントにしていきます。11月頃に開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

●問合せ／赤坂地区総合支所 管理課 管理係
☎03-5413-7014

随時 HP で更新します。

よちよち子育て交流会に参加してみませんか？

子育てをする中での嬉しい出来事や心配事、
気になることなどを情報交換してみませんか。

詳しいスケジュール等はこちら！

対象　赤坂・青山地域在住の乳児とその保護者
開催場所　赤坂区民センターまたは青山いきいきプラザ

【過去の交流会のテーマ例】
赤ちゃんのお口のケア～歯が生えてきた子もまだの子も♪～
抱っこで凝った肩と腰に効く！ゆったりストレッチヨガ

●問合せ／赤坂地区総合支所 区民課 保健福祉係　☎03-5413-7276

赤坂親善大使のグッズを販売・配布しています！

赤坂・青山のマスコットキャラクター「赤坂親善大使」は、地域で行われる様々なイベント等に出演しています。

赤坂地区総合支所（赤坂コミュニティぷらざ）では、赤坂親善大使のぬいぐるみやぬいぐるみストラップの販売、シールやメモ帳などを配布しています！

●問合せ／赤坂地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
☎03-5413-7013

詳しい紹介はこちら！

赤坂親善大使Facebook

編集委員おすすめの［お買い物情報］
BEST BUY

クレヨンハウス

オーガニック食品店「野菜市場」
オーガニックレストラン「広場」

体に優しい野菜たちを購入することができる、港区でもとても貴重なお店。新鮮なのはもちろんのこと、味についても折り紙付きです

クレヨンハウスは、絵本やオーガニック雑貨などの専門店として、今年で創業47年目を迎えます。

地下1階にあるオーガニック食品店「野菜市場」で販売されている野菜は、味が濃厚で新鮮なため、野菜が苦手な子どもたちからも「美味しい！」という声を頂戴するそうです。昨今では、感染予防のために始められた野菜の宅配サービスも大好評となっています。

詳しいお店の情報はこちらから

また、「野菜市場」で販売されている野菜を使用した併設のレストラン「広場」では、ランチ・ディナーで日替わりビュッフェを実施しています。公式サイトで1週間のメニューを紹介しているので、食べたいメニューがある時に狙ってみるのも良いでしょう。おうち時間で旬の野菜をたっぷり摂取して、元気な身体作りを目指したいですね。

丸重

歴史ある風情と柔らかな
おもてなし空間

ランチも営業し、コロナ対策を講じながら頑張っています

アークヒルズから千代田線の赤坂駅に抜ける坂の途中にひっそりと店を構える「丸重（まるじゅう）」。港区谷町で始められた丸十製パン店がルーツで、その後居酒屋に転向されました。昭和57年（1982）に赤坂に移転し、外観・内装とも昭和の良き時代の風情を残すお店です。

大女将の林さん

気さくな大女将・女将の笑顔や、味わいのあるお料理、充実したお酒で、素敵なおもてなしの時間が流れます。近隣の霞ヶ関や議員宿舎から議員や官僚の方々も多く訪れ、家庭的でほっとする空間を楽しまれています。

現在、夜は予約制のコースのみでの営業ですが、築地から仕入れた鮮魚や野菜、茨城産のお米を使ったおいしい和食が心地良い空間で頂ける稀有なお店です。ぜひ一度、足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

Twitterで情報発信してます！

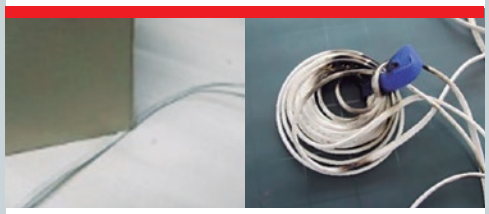
東京消防庁マスコット「キュータ」

赤坂消防署からのお知らせ

急増しています！ でんき火災

令和３年中に赤坂消防署管内で発生した火災件数は51件でした。そのうち**でんき火災**は**37件**で全火災に占める割合は**72.5%**にもなりました。令和２年の16件（31.5%）と比べて**２倍以上**に増えています。令和４年も7月１日現在で24件の火災が発生し、このうち13件（54.2%）がでんき火災です。以下の点に注意し、でんき火災を防ぎましょう！

コード火災



コードを机や棚で踏みつけたり、束ねたまま使用したりすると、電線が短絡・半断線し出火することがあります。
コードを机等で踏みつけていないか確認しましょう！

コンセント、たこ足配線

コンセントに差込んだままにしていると、ほこりや湿気が溜まり、出火することがあります。
コンセントやタップに決められた容量を超えて使用すると過熱し出火することがあります！

IH こんろ火災

IHこんろで油調理中に、スイッチを入れたままその場を離れ、油が発火したり、また、IH非対応の鍋を使用し、過熱防止スイッチが働かず出火したりすることがあります。

外苑前交差点近くのビルのスクリーンにて、でんき火災広報動画放映中です

赤坂消防署　予防課　防火管理係
☎03-3478-0119　akasaka3@tfd.metro.tokyo.jp

E-mailアドレス

都税事務所からのお知らせ

災害等により甚大な被害を受けた方に対して都税を減免する制度があります

災害等により甚大な被害を受けた方に対して、一度課税された税金のうち、納期限前のものを、被災の程度等によって減免（軽減または免除）する制度があります（納税を猶予する制度もあります）。対象は、固定資産税・都市計画税（23区内）、不動産取得税、個人事業税などです。原則として、納期限（不動産取得税を除く）までに、納税者ご本人からの申請が必要です。被災の事実を証明する書類を添えて、都税事務所へ申請してください。
問合せ先／港都税事務所　☎03(5549)3800（代表）

東京ゼロエミ住宅の新築に対する不動産取得税を減免します（23区内）

減免の対象と額は以下のとおり
- 減免の対象：一定の要件を満たす新築の東京ゼロエミ住宅
- 減免税額：最大で住宅に係る不動産取得税の10割

減免を受けるには申請が必要です。また、この他にも耐震化促進税制等、住宅を新築したときに軽減を受けられる場合があります。詳細は、東京都主税局ＨＰをご覧いただくか、下記問合せ先へ。
問合せ先／港区にある物件について
港都税事務所　☎03(5549)3800（代表）

←主税局HP　←環境局HP

この情報誌は赤坂・青山地域の在住・在勤・在学者および赤坂・青山地域のために活動を希望する方々の編集委員によって作成しています。

赤坂・青山地域情報誌 第58号
令和4年(2022) 8月発行　（発行部数：25,000部）

編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング　地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課　〒107-8516 港区赤坂4-18-13
TEL：03-5413-7013　FAX：03-5413-2019

再生紙を使用しています
発行番号 2022084-2035